

# Risk Assessment 推進大会 2019 あいち

## リスクアセスメントの現状と課題

名北労働基準協会 安全衛生部  
清水建設株式会社 名古屋支店 安全環境部

## リスクアセスメントの現状と課題

1. 名古屋支店 店社のリスクアセスメント  
～建設業 元請事業者の危険性又は有害性の調査～
2. 取引事業者のリスクアセスメント
3. 現状の問題点と課題

# 1. 名古屋支店 店社のリスクアセスメント ～ 建設業 元請事業者の危険性又は有害性の調査 ～

## ◆名古屋支店 店社の危険性又は有害性の調査

過去の災害の致命度と発生件数による評価(評点算出)

## ◇作業所の危険性又は有害性の調査

作業所の特性(建物用途・構造・周辺状況・工種別作業量)の補正

評点の高い工事(=危険度の高い工事)を危険工事として特定

重点的に災害防止を図る(具体的な災害防止策)

# 2. 取引事業者のリスクアセスメント

## ◆RA作業手順書の作成 (RA・個別工事 作業手順・予測災害打合せシート)

工種別の標準的なRA手順書データを取引業者へ提供

料理の  
レシピ

専門工事業者の実際の作業手順に修正する  
準備作業・本作業・後片付作業(網羅的)・施工上の注意点

各作業手順の中で予測されるリスク(災害)の洗い出し  
(予測される災害の内、考え得る重篤な災害を引き出す)

災害の重篤度と発生する可能性により見積もり評価

5段階の危険度の内、危険度3以上を危険作業として特定

危険度2以下(受入可能リスク)となるよう災害防止策を決定  
(具体的・現実的かつ継続的に実施可能)

# RA作業手順書 RA・個別工事 作業手順・予測災害打合せシート (事業主が現場入場前に作成)

RA個別工事 作業手順・予測災害打合せシート

**料理のレシピ**

作業内容 → 手順の書出し → 施工上の注意点 → 予想される災害

現場の実状に合致した自社の具体的な手順に修正する。

**リスクアセスメント**

危険性・有害性の見積と危険度判定

除去・低減するために実施すべき事項  
(予想される災害への防止対策)

担当責任者

過去の災害事例  
災害防止のポイント等

安全健康本部 安全課 1階2号工室 作業手順・予測災害打合せシート (8-38-03) 2011年6月1日改訂

## リスクアセスメントの判定基準

発生の可能性 (頻度)	○	ほとんど起こらない (5年に1回程度)	危害の重篤度 (重大性)	○	軽微 (不休災害)
	△	たまに起こる (1年に1回程度)		△	重大 (休業災害)
	×	かなり起こる (半年に1回程度)		×	極めて重大 (死亡・障害)

### 危険性・有害性の評価基準

組合せ

	重大性(重篤度)	○:軽微 (不休災害)	△:重大 (休業)	×:極めて重大 (死亡・障害)
頻度(可能性)	○:ほとんど起こらない (5年に1回程度)	○○ (極めて小さい)	○△ (かなり小さい)	○× (中程度)
△:たまに起こる (1年に1回程度)	△○ (かなり小さい)	△△ (中程度)	△×	(かなり大きい)
×:かなり起こる (半年に1回程度)	×○ (中程度)	×△ (かなり大きい)	××	(極めて大きい)

### 危険性・有害性の評価と危険度の判定基準

危険性・有害性の評価	危険性(重篤度)	危険度	判定
××	極めて大きい	5	即座に対策が必要 (最優先)
×△・△×	かなり大きい	4	抜本的対策が必要 (優先)
×○・△△・○×	中程度	3	何らかの対策が必要 (普通)
△○・○△	かなり小さい	2	現時点では必要なし
○○	極めて小さい	1	対策の必要なし

危険度3以上を  
危険作業として特定

重点的に災害防止対策  
危険度2以下に!

## ■ リスク低減措置の検討及び実施

### 法令、リスク、特定欄の記入例

法令 : 法令、社内基準等により定められた項目

リスク : リスクアセスメント判定基準により1,2,3を記入

特定 : 重点実施事項を特定し ○→● (塗りつぶす)

枠組足場 組立解体 作業手順・予測災害打合せシート								
工程・作業内容	手順	予想される災害	特定欄			リスク低減措置及び実施事項	責任者	
			法令	リスク	特定		元請	業者
3層・4層目組立	荷上・荷取り	ウインチ使用時のはさまれ	○	1	○	玉掛及び運転は有資格者が行う(則36, 41)		
		荷取り時の墜落	○	3	●	親綱に安全帯を掛けて荷取りをする(則564)		金子
	建枠・ブレスの組立	バランスを崩し墜落	○	3	●	親綱に安全帯を掛けて作業する(則564)		金子

重点実施事項として特定した項目は責任者を定め重点管理<sup>4</sup>

### 3. 現状の問題点と課題

- ①各社毎に手順があるはずなのに手順書に記されていない。  
(建設業者は昔から仕事は「体で覚える」「仕事は盗む」「職人の中に手順がある」で手順をまとめる文化がない)
- ②RA作業手順予測打合せシート(RA作業手順書)に記載されている 作業手順が実際の作業手順と異なっている。
- ③作業手順は記載されているが、きめ細かな作業となっておらず、手順書の中に手順の欠損がある。
- ④準備作業、移動中、運搬中、片付け作業が明確になっていない為、リスクが洗い出されていない。  
(その中で休業災害以上の災害が発生している)
- ⑤現場担当者も、業者の作業手順について実際の作業手順と合致しているかどうかの確認ができていない。

## RAの目的と意味 こういうことではないか？

- 絶対起こしてはならない重篤な災害を防止するために
  - ①重篤な災害が起こるリスクを漏らさず洗い出せるように、準備作業、本作業、後片付作業等の全ての場面のやり方(作業手順、運搬方法等)を明確にする。  
(誰もが作業を把握する)
  - ②その中で考えられる災害のうち危険度(重篤度)の高いものを明確にする。(どんな重篤な災害が発生するか)
  - ③めったに発生しない災害であっても、重篤となる災害は漏らさず洗い出す。必ず防止対策を実施する。

①、②、③の内どの項目が欠けても災害防止に繋がらない。



作業を把握ができないと...

料理のレシピ

リスクアセスメントは始まらない!

*Fin*



SHIMZ